

KMU 金沢医科大学氷見市民病院

# かけはし

氷見

| 広 | 報 | 誌 |

KAKEHASHI

HIMI



患者さんと病院と  
地域をつなぐ広報誌

## TOPICS ● トピックス

# 親子ふれあい 医療フェスティバル



KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY  
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL

城端 桜ヶ池クアガーデンひまわり畑

## CONTENTS ● もくじ

<b>TOPICS</b> 親子ふれあい医療フェスティバル	<b>P.01</b>
(最新治療) 最近の下肢静脈瘤の治療法	<b>P.03</b>
平成26年度健康づくり教室開講	<b>P.04</b>
病院★ニュース	<b>P.05</b>
病院からのお知らせ掲示板	<b>P.06</b>
まちかど情報	<b>P.07</b>

### 病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として  
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。

# 第3回 親子ふれあい 医療フェスティバル

夏休み



齋藤人志病院長による挨拶

平成26年8月3日(日)に当院で開催された第3回夏休み親子ふれあい医療フェスティバルは、小中学生及びその保護者を対象に人間のからだのしくみや機能及び病気の検査・治療方法などについての説明と体験を通して医療に興味をもってもらうこと

を目的に開催されました。

まずはじめに齋藤人志病院長から、「このフェスティバルをきっかけに病院に興味を持ってもらい、病院にはどんな内容の仕事があるかを知ってたくさんさんの体験をしてほしい。そして将来の職業選択の参考にしてもらいたい。将来金沢医科大学氷見市民病院にスタッフとして一緒に働いてもらえたら嬉しい」と挨拶がありました。

第3回目となる今年は、氷見市、高岡市、小矢部市、富山市から小中学生70名とその保護者50名の120名が参加しました。年々参加者が増えてきており、今年は昨年よりも20名多い開催となりました。



まずはじめに、小児科 藤木拓磨講師より、「けんこうのヒケツ」と題して講演され、小児の肥満は、成人してからの生活習慣病につながる危険性があるとして、ご自身の体験を交えながら子どもの食生活、運動、睡眠の生活習慣を正しくする大切さを説明されました。

小児科 藤木拓磨先生による講演  
「けんこうのヒケツ」



続いて、参加者から参加申込みの際、頂いた質問や相談内容について当院の医師が答える、こどもの病気に ついての医療相談が行われました。総合司会を総合診療科 神田享勉教授、コメンテーターは整形外科 池淵公博准教授、循環器内科 清澤旬講師、小児科 藤木拓磨講師、耳鼻咽喉科 大浦一子講師の4名が務め、診療科の垣根を越え、フリートーク形式でいろいろな角度から寄せられた質問や相談内容に答えていきました。

《医療相談》  
こどもに特有な病気





⑦手洗い検査体験コース



⑤ギプス・リハビリ体験コース



①内視鏡体験コース



⑧くすり調剤体験コース



②縫合体験コース



⑨放射線3D画像体験コース



⑥聴診器による心音・腹音・血圧測定体験コース



③(除細動)心拍を再開させよう体験コース

## 医療体験コース

### ①内視鏡体験コース

実際に医療現場で使用している内視鏡スコープを、胃の模型の中に入れ、内視鏡の操作や写り方を体験してもらいながら内視鏡でできる治療のことなどを学んで頂きました。

### ②縫合体験コース

医師の指導のもと手術体験として、縫合セットを使って、針と糸で皮膚模型の縫い合わせ体験をして頂きました。

### ③(除細動)心拍を再開させよう体験コース

心電計でハートシム人形の心電図を確認しながら、除細動器を用いて心拍を再開させる体験をして頂きました。病院の白衣や聴診器を貸し出し、救急現場さながらの臨場感あふれる救急医師体験となりました。

### ④超音波体験コース

超音波検査装置を用いて親子で心臓や肝臓、腎臓などの臓器を観察して頂きました。

### ⑤ギプス・リハビリ体験コース

ギプスについての簡単な説明を行った

後、親子でギプスを巻いたり巻かれたりする体験をして頂きました。ギプスをつけた後は、松葉杖や歩行器、車椅子を用いたりリハビリテーションを体験してもらい、最後にギプスカットを体験しました。

### ⑥聴診器による心音・腹音・血圧測定体験コース

聴診器を用いて、お互いのお腹や胸の音を聞いてもらったり、超音波を使用して血管の流れを計測してもらったりして頂きました。

### ⑦手洗い検査体験コース

特殊な光を当てると青白く光るローションをバイキンに見立てて手につけ、手洗いをしてもらい、バイキン(ローション)が手に残っていないか検査する体験をして頂きました。

### ⑧くすり調剤体験コース

薬に見立てたチョコレート菓子を袋に包み、カラフルな軟膏を混ぜ合わせるなど、薬を調剤してから患者さんへ渡すまでの薬剤師の仕事を経験して頂きました。

### ⑨放射線3D画像体験コース

スイカ、メロン、かぼちゃなどをCT撮影し、3D画像での見え方を確認した後、内臓や骨などを3D画像で見せて頂きました。

## 最新治療

## 最近の下肢静脈瘤の治療法（レーザー焼灼術）

〜きれいな脚（美脚）を取り戻してみませんか！〜

最近の血管（静脈）が皮膚表面に太く浮き出して気になるし、なんとなく違和感があるなど感じていませんか？

これは、コブ状に浮き出している血管や足のむくみ、下肢不快感、皮膚の黒ずみ、湿疹など、これらの症状は「下肢静脈瘤」の特徴です。

下肢静脈瘤は、人間が2足歩行することが静脈瘤の成因に一部関連しています。心臓から足の先を送り出された血液が再び心臓に戻るには、重力に逆らって心臓に戻らなければなりません。そのため、ふくらはぎの筋肉がポンプの役割を果たし、血液を心臓へと押し上げます。血管内には逆流を防ぐ弁があり、この弁と筋肉のポンプ効果によって血液は押し上げられて心臓へ戻って行きます。しかし立ち仕事や妊娠、出産をきっかけに静脈弁に強い圧がかかり、弁が壊れて血液が逆流し静脈がコブ状に膨らんだ状態を静脈瘤と言います。特に春先から夏にかけて気温が温かくなると症状が強くなります。

す。中高年齢の日本人の有病率は11〜16%と言われ、特に女性に多く認められます。症状が進むと「うつ滞性皮膚潰瘍」を起こし慢性皮膚炎になります。また、静脈瘤に血栓（血液の塊）ができ、それが肺内に流れていくと生命にかかわる肺梗塞を起こすこともあります。

治療には従来、弾カストッキングの着用、静脈に硬化剤を注入する硬化療法、静脈の高位結紮術、静脈を引き抜くストリッピング、瘤切除術などが行われ、入院期間は7日から10日でした。しかし最近ではレーザーで静脈を焼灼し低侵襲で施行可能です。入院も1〜2日で、保険適応にもなっています。若い方は日帰り手術も可能です。

当科では、初めての方にも安心して受診できるように丁寧に時間をかけた診察を行っております。また静脈瘤の予防指導も行っておりますので、脚の諸症状でお悩みの方はお気軽にご相談ください。

## 静脈瘤のタイプ



クモの巣状静脈瘤



網目状静脈瘤



側枝静脈瘤



伏在静脈瘤



血管内レーザー焼灼術

## レーザー治療の模式図

## 【低侵襲医療】とは。

手術・検査などに伴う痛み、発熱・出血などをできるだけ少なくする医療。内視鏡やカテーテルなど、身体に対する侵襲度が低い医療機器を用いた診断・治療のこと。患者の負担が少なく回復も早くなる。

胸部心臓血管外科 教授

坂本 滋

健康づくり教室開講

開講式  
第1回 糖尿病を知ろう

平成26年5月24日(土)午後2時から  
病院6階多目的ホールで金沢医科大学  
氷見市民病院「健康づくり教室」が開  
講されました。

昨年に引き続き、一般市民の方々を  
対象とし、5月から11月までに毎月1  
回原則第3土曜日に年6回のシリーズ  
で様々な病気について、診断とその治  
療や予防法など、専門医師や医療ス  
タッフが解りやすく解説することによ  
り、皆様方の健康回復や増進に役立  
ていただくことを目的に開催されます。

開講式では、本年4月から就任され  
た齋藤人志新病院長より挨拶があり、  
その後、第1  
回講義として  
当院の伊藤智  
彦内分泌代謝  
科准教授が  
「糖尿病を知  
ろう」と題し



て講演し、糖尿病の初期症状と生活の  
中でできる治療法を紹介しました。  
初回の講演には、約100名の方  
が参加され、大変好評な評価をいた  
されました。

第2回  
脳梗塞にならないために

平成26年6月21日(土)午後2時から  
病院6階多目的ホールにて金沢医科大  
学氷見市民病院「健康づくり教室第  
2回」が開催されました。

本年度第2回目の教室は、当院の脳  
神経外科科長である高田久教授から「脳  
梗塞にならないために」と題して行わ  
れました。当日は100名を超える参  
加者でホールは満席となり、健康につ  
いての市民の関心の高さを感じました。  
講義では①日頃から健康に気をつけ  
る、②定期的に健康診断を受ける、③  
血圧の高い人は降圧剤を飲む、④危険  
因子の排除、⑤こまめに水を飲む、⑥  
脳ドックを受ける、⑦おかしな思っ  
たらできるだけ早く受診する、の「氷見

での脳卒中予  
防の7か条」  
にそって詳し  
い解説がなさ  
れました。



参加者は、  
脈を診る、顔  
や目、手を見るところから病気の  
サインに気づくこと、日頃から水分を  
取る習慣をつけることなど、日常の生  
活上で少し気を付けるだけで、脳卒中  
の予防に役立つという内容の講義に熱  
心に耳を傾けていました。

第3回 肺の病気を知らう  
肺と呼吸器の病気について

平成26年7月19日(土)午後2時か  
ら、病院6階多目的ホールで金沢医科  
大学氷見市民病院「健康づくり教室第  
3回」が開催されました。

市内外から、約100名の方が参加  
され、当院の呼吸器内科長である井口  
晶晴准教授が「肺の病気を知らう」肺  
と呼吸器の病気について」と題して

講義を行いました。  
最初に動画等を用いて、肺や呼吸器  
の仕組みを細かく説明し、次に「咳」  
について詳しく取り上げました。  
咳は防護のために出る。という話か  
ら始まり、当院の細菌検査室の画像な  
どを用いて、長引く咳がある際の診断  
方法や考えられる疾患について説明さ  
れました。つぎに、その疾患を病巣別  
に取り上げて、詳しい症状や治療法の  
説明をしました。

最後に、予防法として、禁煙の重要  
性や、インフルエンザワクチン等の予  
防接種について紹介されました。  
参加者は終始、真剣に耳を傾けてお  
られ、講義の後は肺炎ワクチンについ  
ての質問などがありました。講義中は、  
禁煙外来の様子や、感染ラウンドでの  
エピソード  
なども紹介  
され、それ  
についても興  
味深く聞いて  
おられました。



# ジェネリック医薬品（後発医薬品）普及への理解と利用法

薬剤部 小堀 勝

患者さんの中には、  
○院外薬局で処方せんに書かれた医薬品（先発医薬品）以下、先発品）からジェネリック医薬品（以下、後発品）への変更を勧められた  
○薬の苦みの軽減や貼り薬で剥がれにくい等の工夫をした  
○医薬品の特性改善や利便性を高めるなどという謳い文句の後発品メーカーのテレビ広告を耳にされた方もおられると思います。  
後発品の普及は、患者負担の軽減、医療保険財政の改善に貢献する施策ですが、諸外国の60%〜80%程度の普及に比べ、日本の後発品の普及は、依然40%程度と低迷しております。医療関係者も患者さんも後発品に不安があることが要因と考えられます。しかし、厚生労働省は、平成30年3月までに後発品の普及を60%以上にする目標を打ち出しました。

院外処方せんで、処方せん発行医師が後発品使用不可の意思を示さない場合、院外薬局では、薬剤師が患

者さんに後発品について説明・同意の上、先発品を後発品に変更することができるようになり、変更した内容を処方せん発行医療機関（処方医師）に連絡伝達するシステムができております。

しかし、どうしても後発品の効果・副作用に不安を感じ、納得できない患者さんに対しては、不安・不満を解消するため、先発品を選択できる柔軟な対応をしている医療機関もあります。

後発品の服用に躊躇する場合、変

更を勧めてきた医師・薬剤師より、十分な説明を聞いた上、実際に自己負担軽減や服用のしやすさなどを体験し、患者さんが後発品か先発品にするか、判断するのも、一つの選択肢かと思えます。

逆に、後発品希望を医師に言い出しにくい患者さんは、自治体や健康保険組合からの配布がある「後発品を希望します」という「お願いカード」を医療機関の受付や、医師、薬剤師に提示するだけで、希望の意思を簡単に伝えることができるなどの促進する利用方法も導入されています。

後発品対応の現状と色々な利用法等を述べてまいりましたが、今、患者さんは処方医師、院外薬局薬剤師と、よく相談の上、後発品と買い合わせ合いを選択することが求められています。



## 平成26年度富山県看護協会 優良看護職員県知事部門 功勞表彰

平成26年6月21日（土）富山県教育文化会館において、当院の教育研修職員支援室副室長伊藤澄美子さんが授与されました。この表彰は長年看護業務に従事され、看護職員の資質の向上に顕著な功績のあった優良な方に富山県知事より表彰が授与されます。表彰ではその他、富山県看護協会会長表彰も合わせ15名の方が表彰され、長年にわたる功績をたたえられました。

## 氷見市内中学生 「社会に学ぶ 14歳の挑戦」

～金沢医科大学氷見市民病院において医療体験実施～

平成26年7月7日(月)から11日(金)までの5日間、氷見市内の3つの中学校から5名が当院において医療体験を行いました。

中学2年生を対象に学外での職場体験活動や福祉・ボランティア活動に参加することで、社会性を高め、将来の職業選択の参考にすることを目的に毎年公共施設や地域の企業、事業所等で実際に仕事を体験します。

当院では初日、齋藤人志病院長から、「病院スタッフはどのように患者さんと接し、働いているかをよく見ながら、夢を持っていろいろなことを心と体で感じ、病院の仕事を体験してください」との挨拶があり、その後、看護部、薬剤部、ME部、医療安全対策部、へき地巡回診療などいろいろな部門を回りました。生徒達は活発に業務を行い、担当スタッフにいろいろな質問を行って病院の仕事について学びました。体験を終えた生徒からは、「へき地巡回診療で患者さんと楽しく話をしながらしっ



かりと診察をしている先生の姿が印象に残りました。」「看護師さんは患者さん1人ひとりに思いやりを持って接し、清潔な環境を作って看護を行っていることが分かりました。」との感想が聞かれました。

この病院での体験をきっかけに、将来希望を持った医療従事者となつて戻ってきてもらいたいと願っています。



## 病院からのお知らせ掲示板

### ● 感染対策研修会

日時：平成26年9月25日(木)  
18時～19時  
場所：金沢医科大学氷見市民病院  
6F多目的ホール  
対象者：氷見市内の医療介護施設に従事する者  
共催：高岡厚生センター氷見支所  
・氷見市社会福祉協議会  
地域福祉研修センター氷見  
問い合わせ先：総務課

### ● 腎不全患者家族研修会

日時：平成26年10月5日(日)  
10時～12時  
場所：金沢医科大学氷見市民病院  
6F多目的ホール  
参加費：無料  
対象者：腎不全患者とその家族  
問い合わせ先：血液浄化センター

### ● ヘルシークッキング 教室(要予約)

日時：平成26年10月11日(土)  
10時～13時  
場所：JA創作工房ひみ  
参加費：860円  
問い合わせ先：  
地域連携室



### ● 地域医療懇談会

日時：平成26年10月25日(土)  
18時～20時30分  
場所：うみあかり  
問い合わせ先：地域連携室

### ● 緩和ケア研修会

日時：平成26年  
10月25日(土)9時～18時  
10月26日(日)9時～17時  
場所：金沢医科大学氷見市民病院  
6F多目的ホール  
問い合わせ先：医事課



### ● ブルーサークル 健康講座

日時：平成26年11月2日(日)  
場所：金沢医科大学氷見市民病院  
6F多目的ホール  
参加費：無料  
問い合わせ先：医事課

## 病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに務めます。

## 患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平にうけることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にして頂くため、セカンドオピニオンを受けることができます。

## 患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話ください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないよう配慮ください。

## まちかど情報

### みんなで作る地域情報サイト ひみ知得ナビって知ってる？

氷見で「食事したい」「遊びにいきたい」って思ったときどのようにしてお店を探しますか？  
そんな時、役立つのが「元気ネット氷見」が発信している地域情報です。氷見の地域情報をインターネットで発信することを目的にHPを開設し、市内の企業やお店が申し込みをすることで掲載ができます。金沢医科大学氷見市民病院の情報も載っています。



ヒミエール

掲載店のお得なクーポンなどもありますのでぜひ利用し、氷見のすてきなスポットを満喫してみませんか？

## 院内レストランの紹介

当院のレストランでは定番メニューのほかに季節限定メニューがたくさんあります。暑い夏にぴったりの冷たい物やピリ辛メニューなど取り揃えていますのでご賞味ください。また、毎朝当レストランで焼きあがるパンも人気があります。飲み物と合わせて朝食にいかがでしょうか？

元気なスタッフが皆さんの  
お越しをお待ちしています。

毎月第3木曜日は  
有機栽培焙煎  
コーヒー100円



1階売店は毎週金曜日  
アイス 20% OFF  
(一部商品除く)です。



皆さんぜひご利用ください。

## 編集後記

今号の表紙の写真は桜ヶ池クアガーデンのひまわり畑です。種は南砺市と交流の深い南相馬市から譲り受けたものだそうです。約1万本ものひまわりで迷路も作られています。ひまわりは太陽の動きに合わせて追うように花がまわると言われたことが由来でその名が付けられました。花言葉は「あなただけを見つめます」です。確かに、ひまわりを見ていると太陽のように暖かく見守られているような気がしませんか？

広報誌「かけはし」では、研修会や講座や委員会開催の行事などいろいろな情報を発信しています。今後さらに多くの人に見てもらうため配布先を拡張してはどうかという意見が出されました。これについて何かご意見、提案などありましたら広報委員までご連絡ください。



金沢医科大学氷見市民病院 総務課 かけはし夏号編集委員 問谷その子

### ■広報誌「かけはし 氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけはし」となることを願って命名されました。